

ロータリー・リーダーシップ研究会

The Rotary Leadership Institute(RLI)

RLI 参加者テキスト



RLI
2023~25

RLI 日本支部

カリキュラム委員会

ロータリー・リーダーシップ研究会

The Rotary Leadership Institute (RLI)

RLI 参加者テキスト

目 次

日本語版テキスト発刊にあたり R L I 日本支部委員長	北 清治	4
日本版カリキュラムについて R L I 日本支部カリキュラムチームリーダー	刀根 荘兵衛	5
6つのカリキュラム・フレーム		6
R L I カリキュラムの内容		
パート I		7
1. ロータリーにおけるリーダーシップ		10
2. 私のロータリー世界		12
3. 倫理と職業奉仕		18
4. 財団 I 私たちの財団		22
5. 会員の参加を促す		26
6. 奉仕プロジェクトを創造する		46
パート II		53
1. 成功に導くための計画		55
2. 会員を勧誘する		72
3. チームづくりとクラブコミュニケーション		79
4. ロータリー米山記念奨学事業		88
5. ロータリー財団 II 目標とする奉仕		92
6. 強いクラブを創る		99
パート III		115
1. ロータリーの機会		117
2. 効果的なリーダーシップ戦略		123
3. ロータリー財団 III 国際奉仕		127
4. 公共イメージ		130
5. 規定審議会・決議審議会		134
6. 変化をもたらす		139
卒後コース		141
卒後コースについて RLI日本支部カリキュラムチームサブリーダー	井原 實	142
1. ロータリーの歴史		144
2. ロータリーの理念		163
3. ロータリーの新しい流れ		176
4. クラブを元気にしよう		190

日本語版テキスト編集発刊にあたり

RLI日本支部委員長 北 清治（第2770地区）

この度、RLI日本語版テキスト（2023-25年度）が編集発刊されますことを大変嬉しく思います。今回の編集発刊にあたり日本支部カリキュラムチーム皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

本テキストはRLI本部の指針に沿えながら、日本のロータリアンに適応した内容で編集されております。

2023年7月1日付で発刊されました、RLIファシリテーターガイドブックと一体として、RLIの学習の機会にご活用頂き一層成果が上がることを願っております。

RLI日本支部は、その目的を、RLIの理念に従ってリーダーシップの学びを通じて、ロータリーの活性化と発展を願い、一人ひとりのロータリアンのロータリーへの理解とモチベーションを高め、リーダーシップを涵養することを目指しております。

RLIは1992年アメリカ・ニュージャージー州第7510地区において、元RI理事デビット・リンネット氏の発案で始められた研修組織であります。

日本では、2008年6月元RI理事南園義一日本支部委員長の下でスタートしております。2011年7月元RI理事黒田正宏氏に日本支部委員長が引き継がれ、2015年7月不肖私が日本支部委員長をお引き受けし今日に至っております。

現在、世界で400以上の地区が参加しております。日本では80%以上の地区が参加しております。日本の全地区の参加によって、ロータリアンの自主性と卓越した指導力を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育み、一層ロータリーが活性化されることを期待致しております。

特に、地区内においてテキストの活用とファシリテーター養成の必要性が強く求められております。一日も早く大きな成果が上がることを願っております。

本RLIは、国際ロータリーの理事会において2002年2月RLIの名前にロータリーの名前を使うことを許可し、ロータリーの地区によって管理されている草の根のプログラムとして認められております。

また、2013年の規定審議会でRIのプログラムとするよう決議（13-168）されましたが、既に充実したプログラムとして成功していること、などの理由で、現状の姿を求めています。2014-15年度ゲーリー・ホアンRI会長はコメントを出し、RLIの成功を評価すると共に同じ認識を示しております。RLI本部とRI理事会も共通認識を持っていることを申し添えておきます。

日本版カリキュラムについて

RLI 日本支部 カリキュラムチーム
チームリーダー 刀根荘兵衛

2024-25 年度 RLI 日本支部カリキュラムチーム委員長を拝命致しております刀根荘兵衛でございます。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

既にご存じのように、2023 年 3 月の RI 理事会決定により、ロータリーでは、研修（トレーニング）文化から参加者中心の学習（ラーニング）文化へと移行が決定されました。

今後、RI の研修スタイルは急速にラーニングスタイルに変化していくこととなりますが、実は、この RI のラーニングスタイルへの変更を、30 年以上前から先取りしているのが RLI ということになります。今後、学習（ラーニング）文化への変更を推進するための指導者育成が急務となりますが、このことに最も大きく貢献できるのが RLI プログラムではないかと考えております。

さて、このたび、4 年ぶりに RLI 本部カリキュラム改訂が行われました。今回の改訂では、RLI の基本的なカリキュラム構成は変化がないものの、各セッションの設問内容や資料は大きく変更されました。

私ども日本支部カリキュラムチームでは、早速、RLI 本部の新テキストを参考に、各セッションの設問内容を検討するとともに、所謂、直訳の翻訳ではなく、日本語らしい適切な表現となるよう議論を重ねて参りました。

また、各セッションに付随する資料についても、日本のロータリアンにとってより理解しやすい資料に変更するとともに、日本支部独自の資料も追加致しました。

現在、RLI のカリキュラムは、本部推奨の標準プログラム以外に、各支部が独自のセッションを追加することが認められております。今回の改訂版でも、従来通り、日本独自のプログラムである「米山記念奨学会」と「規定審議会・決議審議会」のセッションを追加掲載致しております。

RLI はパート I からパート III までの一連のコースの学習を通じて、最終的に「ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を目指す」こととなりますが、日本版 RLI 参加者テキストでは、さらに日本支部独自の卒後コースも 4 セッション提案致しております。この卒後コースは参加者のロータリー観をさらに広げる機会となりますので、今まで卒後コースに取り組んでこられなかった地区におかれましても、是非この機会に、卒後コースにチャレンジして戴ければ幸いに存じます。

今後、皆様からのご意見を賜りながら、RLI がより効果的な研修ツールとなるよう努力して参りたいと存じます。

皆様の変わらぬお力添えをよろしくお願い申し上げます。

RLI ファシリテーターの皆様へ

RLI ファシリテーターガイドブックの第 3 章「RLI 参加者テキストをどう読み解くか／ひとつの例として」は旧参加者テキスト(2022~23 年版)のセッションの問いに基づいて解説しています。

今回の改訂版のセッションの問いとは一部異なっている場合がありますので、ご確認の上セッションの進行をご検討ください。

6つのカリキュラム・フレーム

標準カリキュラムセッション

<p>ロータリーの基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 私のロータリー世界 ① ➢ ロータリーの機会 ③ ➢ 強いクラブを創る ② ➢ <u>規定審議会</u> ③ 	<p>リーダーシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ロータリーにおけるリーダーシップ ① ➢ 効果的なリーダーシップ戦略 ③ ➢ <u>チームづくり</u> ② ➢ 変化をもたらす ③ 	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 20px; height: 40px; margin: auto;"></div> <p>合体</p>
<p>奉仕と財団</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 財団Ⅰ 私たちの財団 ① ➢ 財団Ⅱ 目標とする奉仕 ② ➢ 財団Ⅲ 国際奉仕 ③ ➢ 奉仕プロジェクトを創造する ① ➢ <u>ロータリー米山記念奨学事業</u> ② 	<p>クラブコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ <u>クラブコミュニケーション</u> ② ➢ 公共イメージと広報 ③ 	
<p>倫理と職業</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 倫理—職業奉仕 ① 	<p>会員基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 会員の参加を促す ① ➢ 会員を勧誘する ② ➢ <u>成功に導くための計画</u> ② 	

注記：日本支部では、規定審議会とロータリー米山記念奨学事業のセッションを追加し、チームづくりとクラブコミュニケーションを合体して、パートⅡの『チーム作りとクラブコミュニケーション』の1つのセッションにまとめました。

各パートの位置付け

- パートⅠ ロータリアンとしての私
- パートⅡ 私たちのクラブ
- パートⅢ 私のロータリーの旅



ゴールは、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立

卒後コース

改めてロータリーを学び、ロータリーをさらに深める



世界 400 地区以上の共同プロジェクト

2023 - 25

パートⅢ

RLI パートⅢ — 私のロータリーの旅

目 次

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムですが、公式なプログラムではありません。

私たちの使命： ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。



- 1. ロータリーの機会 (Rotary Opportunity) …… 117**
ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができます。



- 2. 効果的なリーダーシップ戦略 (Effective Leadership Strategies) ……123**
ロータリーの旅を進めるとき、私は複雑で熟練したリーダーシップ技術の使い方に引き込まれ、そしてリーダーシップの機会をしっかりと身につけることでしょう。



- 3. ロータリー財団Ⅲ：国際奉仕(International Service) ……127**
ロータリーの旅を進めるとき、様々なニーズに出会い、その問題を解決し、平和の支援を通して、世界中にコネクションを築くことができます。



- 4. 公共イメージ (Public Image) …… 130**
ロータリーの旅を進めるとき、地元地域社会や世界が受ける恩恵に対して、クラブとロータリーのイメージを高める機会を確認することでしょう。



- 5. 規定審議会・決議審議会 (The Council on Legislation & Council on Resolutions) …… 134**
3年に一度開かれる規定審議会は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。参加者はオープンマインドで、ロータリーにとって何がベストなのかを考えることが求められています。



- 6. 変化をもたらす (Making A Difference) …… 139**
ロータリーの旅を進めるとき、RLI の研修によって私自身の経験や成長を自己評価することができるでしょうし、また後輩のロータリアンのために改善のお手伝いができるでしょう。

1 ロータリーの機会

ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができるでしょう。



セッションの目標

- ▶ 国際ロータリー (RI) の常設プログラムを知りましょう。
- ▶ 国際ロータリーのプログラムに参加することであなたやあなたのクラブにはどのような変化がうまれるか考える。
- ▶ あなたのそれぞれのプログラムに参加した経験を話し合う。
- ▶ それらに参加することは国際ロータリーの使命とどのように適合するのでしょうか。

セッションの問い

- 1 国際ロータリー (RI) の常設プログラムには、どんなものがあるのでしょうか。
(資料 1 : P118)
- 2 RI の常設プログラムにあなたのクラブは参加していますか？
すでにいずれかのプログラムに参加した経験のあるクラブは、その意義や効果をどのように評価していますか？
- 3 「ロータリー行動グループ」と「ロータリー親睦活動グループ」(資料 2, 3 : P119～122) について考えてみましょう。
- 4 これらのプログラムは、「国際ロータリーの使命」とどう関連づけられるでしょうか。
- 5 これらのプログラムは、ロータリーの行動計画とどのように関係していますか？



国際ロータリーの使命

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである (ロータリー章典 26.010.1)。

セッション1 資料1

国際ロータリーとロータリー財団のプログラム

インタラクティブ (Interact) は、ロータリークラブが提唱し、組織する奉仕団体で、12歳から18歳までの青少年を対象に、リーダーシップのスキルと超我の奉仕に対する感謝の念を育むことを目的としています。145の国と地域に14,900以上のクラブがあり、約342,900人の青少年が参加しています。

ロータリー青少年指導者養成プログラム (Rotary Youth Leadership Awards) は14歳から30歳までの青少年と若年成人の指導力を奨励し、育成するために、クラブと地区が主催するセミナーです。

自立した国際的グループであるロータリアン行動グループ (Rotarian Action Groups) は、ロータリークラブと地区がそれぞれの専門分野で奉仕プロジェクトを立案、実施する際に支援と援助を提供します。ロータリアン行動グループは、ロータリアン、ロータリアンの配偶者、ロータリーアクターで構成され、特定の奉仕活動に関する専門知識と情熱を持っています。

ロータリー青少年交換 (Rotary Youth Exchange) は、15歳から19歳までの学生に、1週間から1学年度を通じた文化交流のための海外旅行の機会を提供するものです。ロータリークラブと地区は、毎年約10,000人の学生を派遣し、受け入れています。1929年に開始されましたが、公式プログラムとなったのは1975年です。

ロータリー友情交換 (Rotary Friendship Exchange) は、ロータリアンとその家族が相互に他国を訪問し、互いの家庭に滞在して異文化を学び合うものです。

新世代交換 (New Generations Service Exchange) は、30歳までの大学生や社会人を対象とした短期間でカスタマイズ可能なプログラムです。現ロータリーアクターや元インタラクティブ、ロータリー青少年指導者養成プログラム参加者、青少年交換学生など、さまざまな人々が参加できます。交換に参加するためにロータリーの会員である必要はありません。ロータリークラブと地区は、交換のプロセスを通じて、参加者を推薦し、派遣し、受け入れます。新世代交換は2024年7月より、国際ロータリーの公式プログラムではなくなります。このため、国際ロータリーは2024年7月以降、同プログラムへの支援を行うことはありません。ただし、この変更により交換活動自体がなくなるわけではありません。ロータリーでは、地区が引き続き新世代交換プログラムを通じて、交換活動を計画・実施することを奨励しています。

ロータリー地域社会共同隊 (Rotary Community Corps:RCC) は、地域社会の改善に取り組むロータリアン以外の人々のグループです。100カ国以上に11,000以上のRCCがあり、すべてロータリークラブが組織し、提唱しています。

ロータリー親睦活動グループ (Rotary Fellowship) は、ロータリアン、ロータリアンの配偶者、ロータリーアクターから成る自主的で国際的なグループで、親睦、職業開発、新しい友人づくり、新しい奉仕の機会の探求など、さまざまな目的で参加します。

ロータリー平和フェロウシップ (Rotary Peace Fellowships) は、卓越した学業、市民活動、人道的活動によって選ばれたロータリー平和フェロウを教育することを通じて、国内および国際協力、平和、紛争解決の成功を推進するものです。世界中の6校以上の大学がこのユニークなプログラムに参加しており、平和と紛争解決の分野で学位または修了証書を取得することができます。(ロータリー平和センターはロータリー財団のプログラムです)



ロータリー行動グループ

「ロータリー行動グループ」は、特定の専門分野における知識と経験を備えた国際的なメンバーから成る、独立したロータリー関連グループです。グループのメンバーは、人道的なインパクトを高めるといふロータリーの優先事項に沿って、各自の知識と熱意を生かし、インパクトのある奉仕プロジェクトを計画・実施するためにクラブと地区を援助します。各グループは、RIの方針に沿いながら、独自の管理体制と会員組織をもち、その活動を監督しています。

行動グループへの参加

- どなたでもグループに参加できます。ロータリアン、ローターアクター、平和フェローは、グループのリーダー的役割を担うことができます。
- グループへの参加を通じて、クラブ、地区、国を超えて、仕事のスキルを生かしてアドバイスを提供し、奉仕活動の成功を援助することができます。
- ロータリー行動グループは、同じ志を抱く世界中の人たちとネットワークを築く機会です。

行動グループとの協力

ロータリー行動グループは、メンバーが専門とする分野での奉仕プロジェクトにおいて、クラブや地区と定期的に協力します。以下のような目的のためにグループに連絡することができます：

- 社会奉仕活動やグローバル補助金プロジェクトの計画と実施のために、専門知識をもつメンバーにアドバイスしてもらう。
- プロジェクトで協力できるロータリー内外の団体を見つける。
- プロジェクトの資金調達を援助してもらう。
- グループが実施している代表的プロジェクトを参考にして、地元で同様の活動を実施する。
- 地域社会をより良くするために、クラブや地区での活動のインパクトを高める。
- 地元に住む行動グループメンバーに、地区リソースネットワークに参加してもらう。

行動しよう：

www.rotary.org/ja/actiongroups



ロータリー行動グループ

特定の奉仕分野に関心のある方、また専門知識や経験をお持ちの方は、各ロータリー行動グループのウェブサイトで詳細をご覧ください。



アルツハイマーと認知症	http://adrag.org/
ポリオサバイバー	www.rotarypoliosurvivors.org
マラリア	www.ram-global.org
メンタルヘルス	http://ragonmentalhealth.org
保健教育と福祉	www.hewrag.org
内反足	www.rag4clubfoot.org
地域社会の経済発展	www.ragced.org
基本的教育と識字	www.litrag.org
多発性硬化症	www.rotary-ragmsa.org
失明予防	www.rag4bp.org
家庭内暴力の防止	http://www.ragfamsafe.org
家族の健康／エイズ予防	www.rfha.org
平和	www.rotarianactiongroupforpeace.org
強制労働の防止	https://ragas.online/
月経衛生	https://www.ragmhh.org/
母子のリプロダクティブ・ヘルス	https://rotaryrmch.org/
水と衛生	www.wasrag.org
災害援助	www.dna-rag.com
献血	www.ourblooddrive.org
環境の持続可能性	www.esrag.org
糖尿病	www.rag-diabetes.org
絶滅危惧種	www.rag4es.org
聴覚	www.ifrahl.org
肝炎の根絶	www.ragforhepatitiseradication.org
薬物中毒防止	www.rag-ap.org
難民	https://www.ragforrefugees.org/
食用植物の栽培	http://foodplantsolutions.org

新しいロータリー行動グループを結成する

新しいグループの結成方法は、[こちらのガイド](#) (英語) をご参照ください。すべてのグループは、国際ロータリー理事会の承認を受ける必要があります。

ロータリー行動グループの活動例

- 人口と開発に関するロータリー行動グループは、ドイツ、オーストリア、ナイジェリアのロータリークラブと協力し、ナイジェリアの農村地域にある病院で、新生児と母親の死亡率を減らすプロジェクトを実施しました。
- エイズと家族の健康のためのロータリー行動グループは、毎年アフリカやその他の地域で保健イベントを開催し、多くの住民を対象にHIV検査とカウンセリングも行っています。
- マイクロファイナンスと地域発展のためのロータリー行動グループは、クラブや地区と小口融資金融機関とを結びつけ、貧しい人びとが収入を得るための仕事ができるよう支援しています。

関連資料

- ロータリーの重点分野
www.rotary.org/myrotary/ja/document/589
- ロータリー行動グループ名簿
www.rotary.org/myrotary/en/document/714
- ロータリー行動グループ年次報告書 (英語)
www.rotary.org/myrotary/en/document/713
- 地域調査の方法
www.rotary.org/myrotary/ja/document/578
- プロジェクトのライフサイクル
www.rotary.org/myrotary/ja/take-action/develop-projects/lifecycle-project

お問い合わせ

Eメール: actiongroups@rotary.org

セッション1 資料3



ロータリー親睦活動グループ

ロータリー親睦活動グループは、共通の趣味、関心、スポーツ、職業を土台としたロータリーメンバーの集まりです。

交流を通じて、専門知識・スキルをさらに磨き、海外に友人をつくれるだけでなく、特技を生かした奉仕活動を実施することもできます。

親睦活動のメリット

- 自分のクラブや国を越えた友情を築く機会となります。
- ロータリーの公共イメージとブランド力を高めます。
- ロータリー入会やロータリー活動への参加を促進します。

親睦活動グループのしくみ

- 各グループは国際ロータリーから独立して運営されます。
- 独自の規定、会費、管理体制をもちます。
- メンバーになれるのは、ロータリアンとその家族、ロータリーのプログラム参加者／学友です。

新しいグループの結成

自分の関心、趣味、職業のグループがない場合は、一緒に新しいグループを結成できるメンバー候補者を探しましょう。

- My ROTARYから開くことのできるフォーラムの関連グループ(または新しいグループを開設)で参加を呼びかける。
- フェイスブック、ツイッター、リンクトインでメンバーを募集する。
- ロータリー国際大会やその他のロータリー行事に参加して、共通の関心をもつ人を探してみる。

役立つページ

詳しい情報を以下のページをご覧ください。

www.rotary.org/ja/our-programs/more-fellowships

お問い合わせ

rotaryfellowships@rotary.org

JA (0430)



リーダーのネットワークへ www.rotary.org/fellowships

親睦活動グループの一覧

関心のあるグループのウェブサイトを訪れるか、グループに直接 E メールでご連絡ください。

アマチュア無線	ジン	鉄道
アンティーク自動車	世界開発	不動産
占星術	囲碁	キャンピングカー
バトミントン	ゴルフ	ロータリー史
バスハウス	グルメ料理	ビジネス
顎ひげと口ひげ	グラフィックデザイナー	ロータリーのピン
ミツバチ	保健専門家	ロータリーの切手
ビール	ハイキング	ボート (ローイング)
バードウォッチング	ホームエクステンション	ラグビーファン
ボウリング	競馬	スカウティング
キャンピング	乗馬	スクーバダイビング
キャラバン式旅行	ハンティング	スカウト
チェス	インターネット	シューティングスポーツ
コーヒー愛好家	イタリア文化	スキー
コメディ	凧	スタートアップ投資家・RING
コンポスティング	ラテン文化	戦略計画
コンピューター	弁護士	サーフィン
企業の社会的責任 (CSR)	リーダーシップ	卓球
クリケット	LGBT+	紅茶愛好家
文化遺産	手品	テニス
カーリング	マグナグラエシア	総合質管理
サイバーセキュリティ	マラソン	旅行、ホストとしてのおもてなし
サイクリング	メンタルヘルス・カウンセラー	トライアスロン
人形愛好家	ヘビーメタル愛好家	都市ガーデニング
チェッカー	メタバース	ヴィーガン
医療関係者	退役軍人	ヴィンテージ収集
E クラブ	バイク	気象愛好家
編集者・出版者	音楽	ウィスキー
教育者	希少古本	野生生物の保全
女性のエンパワメント	パームワイン	ワイン
起業家	元会長、役員、支援者	ヨット
エスペラント語	平和フェロー	ヨガ
倫理	舞台芸術	若いロータリアン
美術	写真	
釣り	ピククルボール	
飛行	公共保健	
フランス語圏	パブリックスピーカー	
系図学者	キルト・織物手芸	
寄付と遺贈計画		

2 効果的なリーダーシップ戦略

ロータリーの旅を更に進めるにつれて、私は自分のリーダーシップスタイルを試し続けて、より複雑で巧みなリーダーシップ・スキルの使用に取り組み、リーダーシップを発揮する機会を捉えます。



セッションの目標

- グループの中での指導力やコミュニケーション能力を向上させる
- 目標や提案に対する支援を勝ち取ることができる方法を確認する

セッションの問い

1) 混乱したロータリークラブについてのシナリオ

(資料1 : P124 シナリオ参照)

- a) このクラブの真の問題は、あるとすれば、何でしょうか？
- b) その問題点をリーダーシップによってどのように解決できるでしょうか？
- c) あなたなら、どんなリーダーシップ戦略を提案しますか？

2) クラブには「影響力」がある人と、「影響力」がない人がいます。

- a) 影響力とは何でしょうか？どのような人が影響力がありますか？
周りに良い影響を与える人とはどのような人ですか？
- b) 影響力とリーダーシップはどういう関係性でしょうか？

3) 協力関係とは何でしょうか？

協力形成とリーダーシップの関係を考えてください。

(資料2 : P125 参照)

まとめ

- 私たちは協力し合うことで、より成功を取ることができる。
- 成功のためには、協力関係の構築が重要である。

セッション2 資料1 効果的なリーダーシップ戦略シナリオ

シナリオ (混乱したクラブ)

ミルトン・クロッシング (Milton Crossing) ロータリークラブはメンバーの中に数名の活動的な会員がおります。しかし、ほとんどの会員は、無関心です。彼らは昼食を食べに来るだけで、しばしば卓話プログラムが始まる前に退席し、他に何も活動はしません。会員数は33名。3年前の62名から減少しています。2、3の活動的な会員はクラブを維持しようとしていますが、彼らもクラブ活動にもう疲れてきている。Myron 会長は理事会のメンバーと会談し、理事会はいくつかの問題をリストアップしました。

- 1) 例会でいつも一緒に席に座る派閥があり、他の皆を無視します。
- 2) 非積極的な会員の何名かは言うことだけは大きい人ですが、頼まれた時は何処かへ逃げていきます。
- 3) ある会員は何カ月もの間例会に出席していません。しかし、クラブは、もし出席を催促すると、会員が退会してしまうのを恐れています。
- 4) ある会員は大声でこう言います。『私たちはもうこれ以上会員は必要ありません。現在、私たちのクラブは幸せで友好的なグループとなっています。会員が増えれば、それが阻害されます。』
- 5) 2名の会員が新会員をスポンサーするように依頼された時、彼らは、『会員の質が一番大切です。それをよく注意しなければ、、、』と反論してきました。
- 6) ほとんど会員が繁忙のためにクラブ活動に参加できないと言うため、委員会のメンバーを埋めるのに苦労していると会長は公表しています。

クラブの問題は解決されるでしょうか？計画を立案し、グループでどのような結論になったかを議論します。どうしたら彼らの計画の承諾が得られるのか、そして、どうしたらそれがクラブによって実施されるかを議論します。

セッション2 資料2 協力関係の構築

協力関係の構築

協力関係の構築とは、特に異なる視点を持つ人々の間で、全員のニーズを満たす解決策を見つけることであり、妥協や屈服を意味するものではない。他の人々を合意に導くことで、実行可能で持続可能な決定が下されるのです。

スピーチのポイント

- 協力について定義し、他人をまとめなければならなかった時のエピソードを紹介する。
- 意見の対立をオープンにすることで問題の分析が深まり、すべての当事者が意見を述べるようになるようになります。
- 協力関係構築の利点について、例えば、全員がプロジェクトに参加しているという自覚を持ち、新しい解決策を見出すことができることなどを説明する。
- 協力関係構築のプロセスの概要：
 1. それぞれの当事者が自分の立場から、望むことをリストアップする。
 2. それぞれの人にとって何が重大な事か、重大な事でないかをもう一度よく吟味する。
 3. 新しい解決策をブレインストーミングする。
 4. これらの解決策の成果を議論する。
 5. 重大なニーズを満たすように解決策や他の決定について手直しをする。

ディスカッションのための質問

あなたの職業において、協力関係の構築が重要なのはなぜですか。あなたのロータリークラブではどうですか？

協力関係が妥協に終わらないようにするにはどうすればよいですか？

関係者全員を満足させるにはどうすればよいですか？

推奨される活動

グループ討議： 参加者に小グループに分かれて事例研究に取り組んでもらう。グループメンバーに異なる視点を割り当て、一人の参加者が司会者となり、協力関係を構築する。

個々の作業： 参加者に、協力関係の構築に参加しなければならなかった時のことを振り返ってもらう。そのプロセスはどのように機能し、結果に満足できたと思うかについて考えてもらう。

セッション2 資料3

ロータリアンのためのリーダーシップ戦略*

- **チームはそれぞれのメンバーの総和以上のもの**
適切な組み合わせを選ぶことが鍵です。(経験者と新人、プロジェクトに関連する専門職を特定することで、物事を進めるなど)。
- **自分の時間を有効に使い、問題を最後までやり遂げる**
明確な権限委譲が重要。時間は貴重であり、プロセスを動かし続けることです。
- **問題を把握し、他の委員が独自の解決策で障壁を突破できるようにする**
準備することは当然であるが、委員会が解決策を見出す力を与えます。
- **私たちはロータリアン**
ワーク・ライフ・バランスを認識します。各目標は、その意義、評価、リーダーへの期待を強調することによって、努力に見合うものとしなければなりません。
- **適切な質問で問題を解決する**
合意形成から始めます。全員が課題を認識し、解決策に貢献できるよう、準備としてプロジェクトに関わる真の問題に迫る質問でフォローアップします。
- **傾聴する！**
リーダーは、チームからの新しいアイデアに意見を加えたいくなるが、それは逆効果になることが多いです。熱意を持って協力します。
チームは、この活動を自分たちのものだと感じる必要があります。
ロータリーのリーダーの仕事の一つは、ボランティアの勝利者を作ることです。
- **ロータリアンの指導者層を厚くする**
経験、知識、意欲のあるロータリアンが多ければ多いほど、より多くのことを成し遂げることができます。提携、指導、後継者育成は、これを実現するための効果的な手法です。
組織内のすべての重要人物には、研修を受け、要請があればすぐに仕事ができるような後任者を置いておくべきです。
メンターを評価しつつも、メンターには後任を確保する責任を課すことがカギとなります。

キャスリン・オコナー 変化に対応するための7つのリーダーシップ戦略

*強調のため、「ボランティア」を「ロータリアン」に変更。

原文は www.Superperformance.com、

3 ロータリー財団Ⅲ：国際奉仕

ロータリーの旅を続ける中で、ロータリー財団は、世界社会に奉仕する機会を与えてくれます。



セッションの目標

- 国際奉仕の機会について学ぶ
- 国際プロジェクトにおいて職業スキルを生かす
- 国際奉仕のアイデアを探る

セッションの問い

1. 国際奉仕とはどのようなものでしょうか？

五大奉仕部門の第4項目を参考にして、考えましょう。

4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

2. あなたのクラブで印象に残る国際奉仕プロジェクトは何ですか？

3. ロータリー財団の支援を受けて実施する国際奉仕を促進させるために、クラブは何ができますか？

4. 国際奉仕の機会を促進させるために、一人のロータリアンとして何ができますか？
あなたの職業上のスキルを国際奉仕にどのように役立たせることができるでしょうか？

5. 国際奉仕プロジェクトをどのように探しますか？（資料 1,2：P128,129）

国際奉仕プロジェクトのアイデアを考えましょう。

まとめ

- 国際奉仕はロータリーの目的の一部です。
- 国際奉仕プロジェクトを立案し、資金を調達するには、さまざまな方法がある。

セッション3 資料1

国際奉仕プロジェクトとは

国際奉仕プロジェクトの目的は

1. 国際奉仕を通じて、恵まれない人々の生活の質を向上させる。
2. 国際奉仕プロジェクトを実施する際に、さまざまな国のクラブや地区間の協力を奨励する。
3. プロジェクトのニーズや援助に関する情報を交換するための効果的な枠組みを提供する。
4. 国際的な開発や文化の問題、また人々の自助努力を助けるプロジェクトを実施することの重要性について、ロータリアンの認識を高めること。
5. 国際ロータリーおよびロータリー財団の関連プログラムへの参加者を援助する。
6. プロジェクトの成功体験をほかのロータリアンに伝える。
7. 国際理解、親善、平和を育む。グローバル補助金プロジェクトは、所定の基準を満たさなければならない。

補助金センター (www.rotary.org) をご参照ください。

プロジェクトに参加する

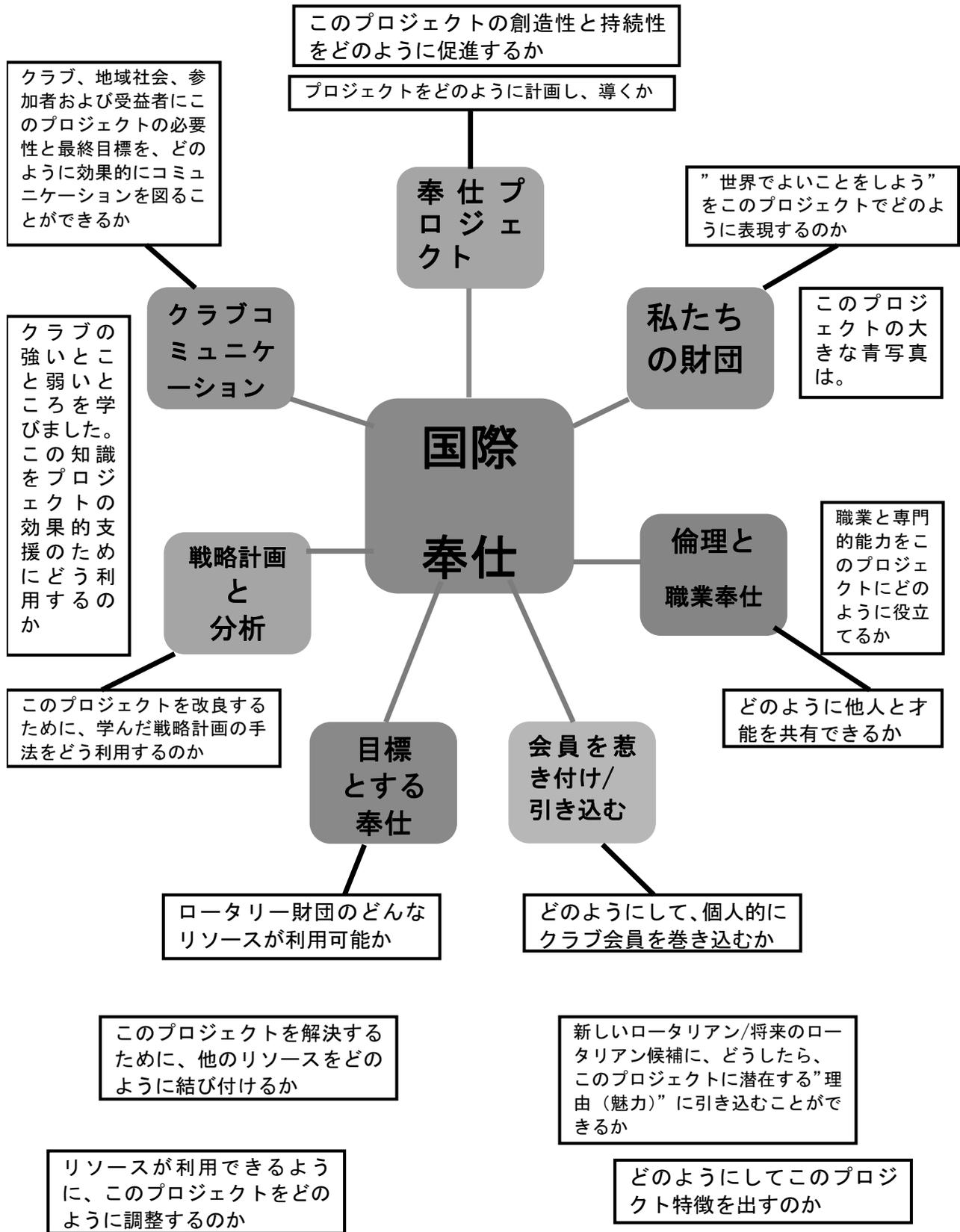
プロジェクトに参加したロータリークラブは、プロジェクトが実施される地域社会を越えて、プロジェクトがもたらす恩恵を実感することができます。クラブには、以下のような機会があります。

- (1) より意欲的なプロジェクトに取り組む
- (2) 奉仕活動への参加者全員の意欲を高める
- (3) 海外のロータリアンとのつながりを深める
- (4) 国際理解と親善を深める
- (5) 世界的な関心事に取り組む。

多くのクラブが、ロータリアン同士の非公式なつながりをきっかけに、国際奉仕プロジェクトに参加するようになります。ロータリーショーケースは、ロータリアンが国際奉仕に参加するもう一つの方法です。この検索可能なデータベースには、資金、ボランティア、支援物資、ロータリー財団補助金のパートナーを探している世界中のクラブや地区による社会奉仕プロジェクトが数百件掲載されています。また、ベストプラクティスの参考となるモデルプロジェクトの一覧も掲載されています。

セッション3 資料2

国際奉仕の関係をまとめてみましょう



4 公共イメージ



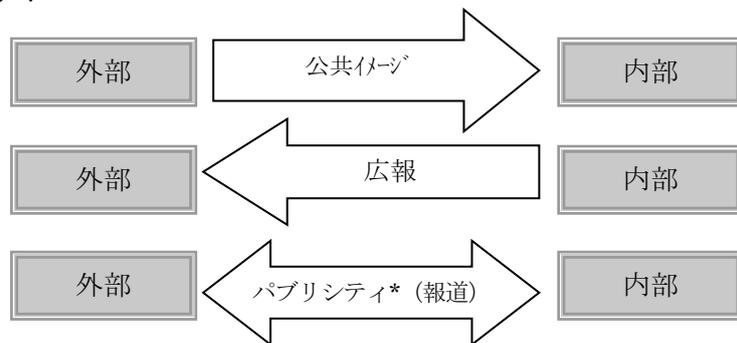
ロータリーの旅を進めるとき、地元地域社会や世界の享受する恩恵に対して、クラブとロータリーのイメージを高める機会を確認することでしょう。

セッションの目標

- クラブが公共イメージ戦略からどのような恩恵を受けることができるかを探る
- クラブが広報しようとするターゲット層を特定し、その層に効果的にアピールする方法を見つける
- ロータリークラブにおける公共イメージの目標を、国際ロータリー行動計画の戦略分野に関連づける
- 「ロータリーブランド」の活用方法を学ぶ

セッションの問い

- 1) 広告宣伝、広報および公共イメージの違いは何でしょうか？そのうちどれが一番制御できるのでしょうか？



*パブリシティは広報PR活動の一種で、自社の製品や事業に関する発表をしたり、取材に応じたりすることで、マスコミ媒体に取り上げてもらう活動のことです。

宣伝よりも「報道」の意味合いが強い言葉です。

- 2) 多くの地域社会では、多くの人がロータリークラブの存在を知りません。あなたの周りでは“ロータリー”はどのように認知されていますか？
- 3) あなたは、自分のクラブ、そしてそこに参加している自分に対し、地域でどのようなイメージ（公共イメージ）を持ってもらいたいと思っていますか？
- 4) クラブやあなた自身がどのようにすれば、あなたのクラブの公共イメージは高まると思いますか？
- 5) あなたがクラブの公共イメージ委員長なら、どのようなイメージアップ戦略を企画しますか？

まとめ

- クラブの公共イメージは、会員だけでなく、クラブの信頼性にも影響します。
- 広報はプレスリリースではありません。
- 豊富なリソースが国際ロータリーから提供されています。

セッション4 資料1

公共イメージの事例研究

以下の事例研究を読み、ロイヤル・ガーデンロータリークラブの公共イメージ計画を立案します。

クラブがメディアや地域社会に直接働きかけ、プロジェクトを紹介する方法を3、4つ挙げてください。以下の質問を参考に、計画を立ててください。

ロイヤル・ガーデンロータリークラブは、35,000人の豊かな町にあります。クラブの会員40名は、ロイヤルガーデンズの専門職業に携わる人々の集まりです。

クラブの毎週のプログラムには、地元の著名な講演者が招かれ、会員は地域社会での活動に熱心に取り組んでいます。

クラブは、増加する地域の高齢者人口を支援しています。

この継続的なプロジェクトを通じて、クラブ会員は食事の準備と配達、家の修理の手配、入院した住民の見舞いなどを行っています。

クラブはまた、ロータリー平和フェローシップの候補者を探す活動も行っています。

ある奨学生は、地球温暖化が海の水位に及ぼす影響を研究しており、その経験を会員に伝えるため、定期的にクラブと連絡を取り合っています。

地域社会でさまざまな活動が行われているにもかかわらず、クラブがどのような活動をしているか知っている人は少ないという調査結果があります。回答者の中には、ロータリーは年配の男性のための社交クラブだと認識しているという人もいました。

このようなクラブに対するイメージのために、新しく、若く、多様な参加者を集めることが難しくなっています。

1. 問題を明確にします。
2. クラブの現在の活動のどのような点が、メディアの関心を引くと思われますか。
3. それぞれの活動について、どのタイプのメディアが最も適切ですか？その理由は？
4. クラブの定期的なプログラムは、地元メディアにとってどのような関心があると思われますか。
5. 公共イメージ以外に、この問題の解決に関与すべき委員会はありますか？
6. 多くの人は、この問題はクラブ会員全員の手任せられていると言うでしょう。クラブ会員全員がこの問題を解決するために何ができるでしょうか。公共イメージ委員会は、この点に関してどのようなお手伝いができますか。

セッション4 資料2

広報文章の書き方

広報には、わかりやすく、論理的で、簡潔な文章を書く能力が不可欠です。ほとんどのPR文章の目的は、読者の注意を引き、情報を素早く伝え、メディアに記事を取り上げてもらうことです。

逆ピラミッド

ほとんどのプレスリリースやメディア向けの文書では、逆ピラミッド型のスタイルが採用されており、最も重要で関連性の高い情報が一番上にあり、その後に徐々に重要度の低い情報が続きます。見出しと最初の一文は、プレスリリースで最も重要な部分です。編集者や記者を引きつけるに十分な説得力を持たせましょう。

5つのW

5つのWを最初の段落、理想的には最初の文に含めましょう：

- 誰が？ストーリーの中心となる人物やグループ。
- 何を？クラブが関わっているイベントやプロジェクト
- どこで？イベントの場所（住所などを含めて）
- いつ？イベントの日時、またはある人物やプロジェクトに関わる期間
- なぜ？その出来事、人物、プロジェクトが一般の人々にとって重要である理由。

それ以降の段落では、その出来事やプロジェクトについての詳細を述べたり、その人物やグループがどのように特別なことを成し遂げたかを説明する。

プレスリリース以外の方法

ロータリアンは、以下のようなさまざまな方法で、メディアにストーリーを伝えることができます：

- **メディアアラート (Media alerts)**
メディアアラート（メディアへの速報） 時間に追われる報道機関にとって、プレスリリースをさらに凝縮したメディアアラートはありがたいものです。今後の行事や注意事項を伝えるのに最適で、5つの「W」に箇条書きで答え、メディアの連絡先にアラートを送信するだけです。
- **編集者への手紙**
社説欄は、新聞で最も読まれる欄の一つであり、手紙は多くの人に届く可能性があります。RIから提供されている書簡のテンプレートを利用しましょう。
- **オプ・エド (op-ed: opposite the editorial page / opposite editorial)**
オプ・エドは、新聞社のスタッフではない個人が書く意見記事です。自分の新聞に論説を書く前に、地域社会がどのような話題に関心を持っているかを学んでおきましょう。
- **メディア・キット (Media kits)**
ロータリーやクラブに関する一般的な情報のほか、行事に合わせた資料を収めた特別なフォルダーを用意しましょう。
- **ファクトシート**
ファクトシートは、ロータリーのプログラムについて詳しく説明し、記者に正確な情報を提供するためのものです。

- www.Rotary.org より抜粋

セッション4 資料3

ロータリー行動計画



私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って
行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらす、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実現するため、今後数年の活動を方向づける四つの優先事項が定められました。

より大きな
インパクト
をもたらす

- ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の
基盤を
広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリー参加の新しい道筋を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的な
かかわりを
促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を
高める

- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な視点を助長するために、ガバナンスを見直す

4410-JA-(722)

RI 資料：「行動計画」のチラシ
(action plan flyer)

5 規定審議会・決議審議会

The Council on Legislation & Council on Resolutions



3年に一度開かれる規定審議会（COL）は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。

決議審議会（COR）は毎年、電子的コミュニケーションを通じて決議案を審議します。採択された決議案は、後日、理事会あるいは財団管理委員会で検討されます。

セッションの目標：

- 規定審議会（COL）と決議審議会（COR）の意義と仕組みを理解する。

セッションの問い

- 1) 手続要覧をご覧になったことがありますか？
ロータリー章典をご存じですか？
- 2) 審議会の仕組みを理解しましょう。（資料1：P135）
 - a. 規定審議会と決議審議会の違いとは？
規定審議会で変えられることは？
 - b. 審議会には、誰が提案できるのか？
 - c. 規定審議会・決議審議会のサイクルと手続き。
- 3) もしあなたが、ロータリーに関して何かを変えたとしたら、何を変えようと思いますか？
具体的に、そしてその理由は？
- 4) あなたの提案でどのようにロータリーは変わりますか？

まとめ

- 規定審議会は私たちの手でロータリーを変える機会

セッション5 資料1

規定審議会とは

規定審議会は、3年に1度開催される国際ロータリーの立法機関となっている。3年に1度開催される規定審議会では、ロータリーの組織規定に変更を加える制定案と、RI理事会の見解を表明する見解表明案について審議と投票が行われる。規定審議会では制定案と見解表明案(見解表明案はRI理事会のみ提出できる)のみが審議される。ロータリーの組織規定(RI定款と細則・標準ロータリークラブ定款)を改正する権限を持つのは規定審議会だけである。

立法案の種類

規定審議会で審議される立法案は、制定案と見解表明案に限るものとする。組織規定を改正しようとする提案は**制定案**と称する。RIの立場を表明しようとする提案は**見解表明案**と称するものとする。

立法案の提出者

制定案は、クラブ、地区大会、RIBI審議会または大会、規定審議会、および理事会が提案できる。見解表明案は理事会のみが提案できる。理事会は、管理委員会の事前の承諾なしには、ロータリー財団に関する立法案を提出しないものとする。

クラブ提出の立法案を地区で承認

クラブおよび地区が提案する制定案は必ず地区大会、地区立法案検討会、またはRIBI地区審議会において、地区内のクラブの承認を受けなければならない。地区大会、地区立法案検討会、またはRIBI地区審議会に制定案を提出する時間的余裕がない場合、ガバナーの実施する郵便投票を通じて地区内クラブの票決を求めることもできる。いかなる地区も、1回の規定審議会につき5件より多くの制定案を提案もしくは承認すべきではない。

制定案と見解表明案の締切日

制定案は、すべて規定審議会の開かれるロータリー年度の前年度の12月31日までに、RI事務総長に提出されなければならない。理事会は、緊要性があると判断した制定案を、規定審議会の開かれるロータリー年度の12月31日までに、事務総長に提案、提出することができる。理事会の提出する見解表明案については、規定審議会が閉会するまでこれを受理し、その票決を行うことができる。

制定案の採択

2019年規定審議会の結果、国際ロータリー細則の第7.070.6.項に従い、制定案の事前審査が行われる。事前審査の目的は、広く支持または反対されている案件をより簡単に解決することで、規定審議会の効率を向上させることである。80%よりも多くの代表議員が案件に賛成した場合、その案件は規定審議会により採択されたと見なされる。規定審議会で審議される議案は、RI定款、RI細則・標準ロータリークラブ定款である。

RI定款については、規定審議会において、出席し、かつ投票を行う者の投票の**3分の2**によって改正できる。

RI細則・標準ロータリークラブ定款については、臨時審議会の規定を除き、規定審議会に出席し投票した人の**過半数**によってのみ改正することができる。規定審議会の臨時会合で制定案を採択するには、出席し、投票した人の**3分の2**の賛成投票が必要とされるものとする。

決議審議会とは

決議審議会は、毎年、電子的コミュニケーションを通じて決議案を審議する機関となっている。採択された決議案は、後日、理事会あるいは財団管理委員会で検討される。また、2019年規定審議会において、決議審議会は規定審議会の特別会合として、理事会が緊急性があると判断し、正規の手続で提出した制定案を審議し、決定を行うことができるようになった。

決議案

決議審議会の意見の表明である案件を決議案とする。決議案は、ロータリー世界全体に影響を与える案件に適している。決議審議会にて採択された決議案のみが理事会や管理委員会で検討される。このため、理事会等で確実に検討してもらいたい場合には、決議案の代わりに、請願書として提出する方法もある。

決議審議会の会合

決議審議会は、毎年開催されるものとする。決議審議会は電子的コミュニケーションを通じて招集されるものとする。

決議案の提出者

決議は、クラブ、地区大会、RIBI審議会または大会、および理事会が提案できる。

クラブ提出の決議案を地区で承認

クラブおよび地区が提案する決議案は必ず地区大会、地区立法案検討会、またはRIBI地区審議会において、地区内のクラブの承認を受けなければならない。事務総長に送達される決議案には、地区大会や地区立法案検討会やRIBI地区審議会での審議、または、郵便投票の票決により承認されたことを明記したガバナーの証明書を添付するものとする。

決議案の締切日

決議案は、その案件が審議される決議審議会の開催年度の前年度6月30日までに、事務総長に書面で提出されなければならない。理事会の提出する決議案については、決議審議会が閉会するまでこれを受理し、その票決を行うことができる。

決議案の採択

決議案は、決議審議会にて投票する代表議員の少なくとも過半数の賛成票で、採択することができる。理事会は、決議審議会が終了してから1年以内に、審議会によって採択された決議にかかわるすべての理事会の決定について、全ガバナーに通知するものとする。

審議会決議審議

	規定審議会	決議審議会
頻度	3年に1度	毎年
開始日	4月、5月または6月	特定なし
場所	世界本部の近く 直接顔を合わせる	オンラインフォーラム
投票者	代表議員	代表議員
審議される立法案	制定案と見解表明案	決議案
立法案締切日	審議会前年度の12月31日	審議前年度の6月3日
修正	可	不可
緊急性のある理事会からの制定案	審議会前年度の12月31日	該当せず
理事会からの見解表明案の締切日	審議会閉会するまで	該当せず
理事会からの決議案の締切日	該当せず	審議会前年度の12月31日
立法案集の発行	審議会開催年度の9月30日	特定なし

セッション5 資料2

規定審議会結果一覧

	立法案	制定案	見解 表明案	決議案	採択立法案	採択 制定案	採択 決議案	採択見解 表明	日本 制定案	日本 決議案	日本 採択制定	日本 採択決議
2022年	94	94	0	—	29	29	—	—	26	—	7	—
2019年	117	116	1	—	47	47	—	1	25	—	6	—
2016年	181	117	—	64	61	47	14		17	9	6	5
2013年	173	142	—	31	59	53	6		14	6	4	3
2010年	220	128	—	92	66	47	19		10	14	1	2
2007年	337	167	—	170	97	59	38		17	7	3	3
2004年	476	250	—	226	100	50	50		6	8	2	2
2001年	681	388	—	243	98	55	43		11	22	1	3
1998年	196	196	—	87	54	38	16					
1995年	196	159	—	37	31	22	9					
1992年	342	272	—	70	58	49	9					
1989年	179	133	—	46	41	31	10		1	1	1	
1986年	255	192	—	63	69	54	15		0	0	0	0
1983年	198	169	—	29	46	36	10		5	1		
1980年	123	107	—	16	46	38	8		8	0		0
1977年	116	98	—	18	37	29	8		4	0	1	0
1974年	80	60	—	20	25	19	6					
1972年	83	70	—	13	20	15	5					

決議審議会結果

	件数	採択数	RI&TRF 同意	日本 件数	日本 採択数	RI&TRF 同意
2023年 COR	26	7	3	12	4	1
2022年 COR	16	8	6	8	5	4
2021年 COR	36	16	4	9	4	2
2020年 COR	30	11	5	5	3	1
2019年 COR	33	7	3	11	4	2
2018年 COR	55	27	5	23	12	2
2017年 COR	39	17	5	19	9	3

(RLI 日本支部カリキュラムチーム作成)

2022年規定審議会 審議結果

		提案数	採択数	採択率	備考
1	日本	26	7	26.9	
2	ブラジル	14	2	14.3	
3	RI 理事会	11	11	100	事前に 2 件取り下げ
4	米国	7	3	42.9	事前に 3 件取り下げ
5	インド	8	1	12.5	事前に 1 件取り下げ
6	台湾	8	1	12.5	
7	ノルウェー	4	1	25.0	
7	オーストラリア	4	0	0	
7	カナダ	4	2	50.0	
10	スウェーデン	3	0	0	
11	フランス	2	0	0	
11	スイス	2	0	0	
11	韓国	2	1	50.0	
11	ドイツ	2	1	50.0	
11	タイ	2	0	0	
16	RIBI	1	1	100	
16	アイルランド	1	0	0	
16	ペルー	1	0	0	
16	チリ	1	0	0	
16	アルゼンチン	1	0	0	
16	スペイン	1	0	0	
16	リトアニア	1	0	0	
16	イタリア	1	0	0	
16	デンマーク	1	0	0	
	合計	88	29	32.95	事前に 6 件取り下げ

2022年規定審議会 分野別提案数

分 野	全体	日本	RI	採択数
クラブ運営	9	5	0	1
クラブ例会と出席	10	7	0	3
会員	6	0	0	4
奉仕部門・行動規範	6	1	0	1
ローターアクト	3	0	1	1
国際ロータリー（役員・選挙）	7	0	3	3
国際ロータリー（一般）	4	0	1	2
国際ロータリー（雑誌）	2	1	0	0
国際ロータリー（クラブ）	2	0	0	1
国際ロータリー（委員会）	4	0	1	1
国際ロータリー（会議）	1	0	0	0
国際ロータリー（管理運営）	3	3	0	0
国際ロータリー（財務）	4	0	1	3
ロータリー財団	1	0	0	0
人頭分担金	6	1	1	1
審議会（事前手続・会議・代表議員）	12	6	1	4
審議会（その他）	2	1	1	2
地区運営	6	1	1	2
合 計	88	26	10	29

6 変化をもたらす



ロータリーの旅を進めるとき、RLI の研修によって私自身の経験や成長を自己評価することができるでしょうし、また後輩のロータリアンのために改善のお手伝いができるでしょう。

セッションの目標

- 他の後輩ロータリアンのために、RLI 参加者として RLI の経験を改善するためにはどのようなことができますか？
- RLI の議論の中から出たアイデアを、ロータリークラブ、他の市民団体、社会生活、あるいは職業において、どのように利用することができるでしょうか？
- あなたの経験から RLI プログラムの強み弱みを分析し、RLI 改善のための提言をしてください。

セッションの問い

- 1) あなた個人として、RLIのパートⅠからパートⅢまでの中で、どのセッションが一番心に残りましたか？ また、それはなぜですか？
- 2) それぞれのセッションの目標に到達するには、どのような討議・資料が一番効果的でしたか？ それはなぜでしょうか？
- 3) あなたはRLIの経験から何を学びましたか？
RLIに参加してあなた自身に何か変化がありましたか？
- 4) 学んだことを社会生活や仕事にどう活かせるでしょうか？
- 5) 「私のRLI個人別行動計画」を作成してみましよう。

ご卒業おめでとうございます！

もっと学びたいですか？RLIでは卒業生のために特別な卒後コースを用意しています。

セッション6 資料1 (参考)

私のRLI個人別行動計画

目標：私がこの研修の結果として、今までとは違う行動しようと計画していることを一つ挙げて下さい。

スマート (SMART) な目的 : _____

Specific 特別な : _____

Measureable 測定可能な : _____

Achievable/Agreed to 達成できる : _____

Realistic/Result-oriented 現実的な : _____

Time Stamped 期限が決まっている : _____

(目標達成日) (goal attainment date)

この目標を達成するための行動ステップ :

1. _____

2. _____

3. _____

支援してくれる人、あるいは支援ツール : (目標達成のために誰が/何が支援しますか)

必要な追加的な研修や知識 :

目標達成をどのようにお祝いしたら良いでしょう。

署名 : _____ 日付 : _____

R L I 研修セミナーテキスト (2023 - 2025 年度版)

翻訳・監修：R L I 日本支部

発行者：R L I 日本支部委員長 北 清治

発行：2024 年 7 月 1 日

事務局：第 2750 地区ガバナー事務所

電話：03-3436-2750

U R L：https://rli-japan.org

Email：rlijapan.mainoffice@gmail.com